

令和4年2月2日 校長室から



2022 年が始まりひと月が過ぎました。コロナ感染症の感染拡大の勢いがすさまじく、不安の中お過ごしのことと存じます。一昨日（1/31）から茨城コロナ Next の Stage も3に上がり、昨日お知らせしたとおり、明日 **2月3日（木）から分散登校が始まります。**

学校では、これまでどおり感染症対策を徹底し、できることを見つけて子どもたちの学びが止まらないように努力していきたいと思います。引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



・・・こんな時だからこそ・・・

さて、このような中でも、学校には子どもたちの元気な声が響いています。卒業学年の廊下には、「卒業まであと〇〇日！」の掲示も見られ、**一日一日を大切に過ごす・・・この想いがますます強くなります。**不安が大きくなり気持ちが晴れないかと思いますが、こんな時だからこそ深呼吸をして「幸せ」について考えてみませんか。以下始業式に子どもたちに話をした内容を掲載します。

幸せの4つの方法 （慶応義塾大学 前野隆司氏 から）

- ① やってみよう（挑戦） ② ありがとう（感謝）
③ 何とかなる（ポジティブ） ④ ありのまま（自分らしく）

「幸せの4つの方法」についてです。以前②の「ありがとう」について友達や家族に感謝の気持ちを伝えよう！をやってみました。今回は①の「やってみよう」をちょっとだけやってみました。

それは、「とら」に関する問いをたくさん考えてみるというもの。チャット機能を使ってみると、面白くて、「なるほど～」と感心させられる問いがたくさん生まれていました。

現在は、先の見えない時代（VUCA ブーカの時代）と言われています。勉強は「強いて勉める」という字を使っていますが、**学問は「問いを立てて学ぶ」と**書きますね。五感をフルに使い、どんなにおい？どんな手触り？何を食べるの？寿命は？など子どもたちの興味は尽きることがありません。自ら問いを立て、自分に合った方法で、自ら解決しようとする。そんな子どもたちを後押しするのが大人の役割。教師も教え導くだけでなく、子どもと共に学んだり、支援したりする伴走者という役割に変わってきています。

皆さんはどんな問いを立てますか？



校内書き初め展開催中（HPをご覧ください）

冬期休業中に先生たちが書道の研修で書いた書も飾ってあります。

